

十二月二十五日より 国民健康保険
十二月二十五日まで 納付金完納月間

……あらゆるムダを省いて……

財布の「とち」を「せき」ように

歳末特別貯蓄運動(十一月二十一日〜十二月三十一日)は一般預貯金五兆円突破を目標とし、貯蓄増進中央委員会を中心に全国の金融機関をあげて強力に展開されています。未曾有の大巨作で農家の皆さんはもちろん、一般市民の皆さんも最も恵まれた歳末を迎えることになりましたが、このような時こそ貯蓄と生活上の基礎をしっかりと築く時です。次の各事項によく御留意の上、悔のない新年を致しましょう。

年末年始の虚礼廃止と諸行事の簡素化
年末から年始にかけては昔からのしきたりや、単なる形式的な色々の行事がたくさん催されます。例えば忘年会、クリスマス、歳暮の贈答、松飾り、年始の行事等があり、財布の紐をゆるめたらそれこそ大へんです。イ、歳暮の贈答について

特に世話になつているとか、或いは過去において特別の恩義を蒙つている等、中には欠くことのできない面もありましようが、多くの場合は今までの習性で昨年も贈つたから今年も贈らねば厚かろう位の気持ちで全く意義のなくなつていいる場合が多いものです。贈答の必要性についてはよく検討し、最小限にとどめるよう、また各職場としてもムダな贈答の廃止はぜひ励行して下さい。

○、年始行事の簡素化について
同じ職場内での年賀状を廃止し、年始廻りの代りに年賀交歓会などを利用致しましょう。ハ、正月用 松飾りや クリスマスマツリ

これらに使用されるために伐採される木の数は非常に大きなものです。林野庁の調査によりますと松飾用として年々消費される松の木は二九一、〇〇〇石に達し、これらの若松が若し三十五年間育成されると七、九五九、〇〇〇石の松材になり、これから採れる木材で建坪十五坪の家屋が十三万戸も建てられる計算になります。またクリスマスツリーでは

戸籍課では印鑑証明やその他の証明の交付を受けられる場合次のことさらに注意されるより願っています。
① 市内に住んでおられる者および法人の代表者で印鑑の証明を受けようとする者は、予め市役所又は支所へ印鑑届をしておかなければなりません。
② 法人の場合は法務局に届出のある印鑑と

印鑑証明は本人で

代理人は委任状を

これらに使用されるために伐採される木の数は非常に大きなものです。林野庁の調査によりますと松飾用として年々消費される松の木は二九一、〇〇〇石に達し、これらの若松が若し三十五年間育成されると七、九五九、〇〇〇石の松材になり、これから採れる木材で建坪十五坪の家屋が十三万戸も建てられる計算になります。またクリスマスツリーでは

全国で二、一五〇、〇〇〇本(約四、六〇〇石)も伐採されています。
家計簿の反省と明年の生活設計を
一年の終りに当つて家計簿の内容をよく検討し、果してムダなもの非効率的なものがなかつたかどうか、更にそれを少くし、或いはなくするためにどうしたらよいかを家族みんなで相談すると同時に明年の合理的な生活設計をたてて下さい。
くらしの反省は家計簿から

1. 同一のものでなければなりません。
2. 印鑑は一人一印に限られています。
3. 印鑑届は本人がしなければなりません。
4. 若し本人が出席できないときは用書にその事由を書いて保薦人(本市に居住の人の)の二名連署を得て代理人に委任することができません。
5. 届出の印鑑を踏止したとき、住所などに異動があつたとき、亡失したときは直ちに書面で届出て下さい。
6. 印鑑証明を受けようとする者は本人が出席して手数料を納めて顔出しなければなりません。本人が出られないときは代理人に委任状を渡して受けることができます。
7. その他の証明を受ける場合は証明料(用紙は戸籍課にあります)二通を戸籍課へ提出して下さい。(戸籍課)

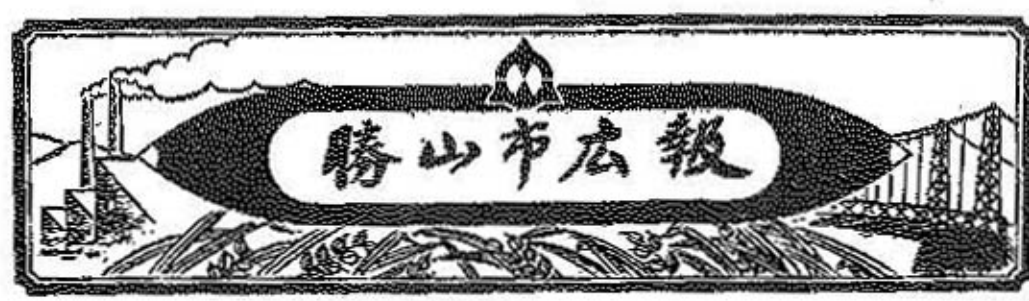
表彰される五名大会で

十二月二日県庁に於て国民健康保険団体連合会の保険者大会を開き、国民健康保険法第二条を改正して同保険の実施を市町村の義務制とすること、および同保険事業助成のため県費補助を五割(現行三割)に増額することの二項目を決議し関係機関に働きかけることになりました。

同大会には国民健康保険を實施している市町村や事務職員二百名が参加の上、宇野理事長から多年国保事務に従事した功労者二十八名に表彰状を授与されました。

当市関係は次の通りです。

- 飯田唯夫 尾山義一
津田俊雄 藤沢一子
前川照代 以上(衛生課)



勝山市広報
(第23号)
昭和30年12月15日発行
福井県勝山市役所庶務課

十一月の人口動態	
種類	男 女 計
出生	二八二四 五二
死亡	二四二〇 二四
死産	四二 六
離婚	二七
計	四六二六一一四

第一回勝山市農林畜産物品評会

表彰者さきまる

十一月二十二日、二十三日の両日勝山市農林畜産物品評会で左記の方々がそれらの部門で表彰されました。

一農産部

A 主要穀類及び雑穀

品名	産名	住所	氏名
米	知寄賞	荒土町	東川 秀雄
米	特等賞	村岡町	松原 忠雄
米	一等賞	荒土町	田沢清兵衛
大豆	一等賞	平泉寺町	山端 嘉栄

B 根菜類

王葱	一等賞	勝山町	斎藤仁右衛門
大根	一等賞	北郷町	小林定一郎
人参	一等賞	差羽町	松山 惣作
大根	特等賞	荒土町	田中安太郎
人参	特等賞	村岡町	木村 静枝
人参	一等賞	荒土町	中村五兵衛

C 葉菜類

ねぎ	一等賞	勝山町	山内 加作
白菜	一等賞	北谷町	南江 次作
白菜	一等賞	荒土町	田内 芳一
白菜	一等賞	北郷町	小林 嘉七

D いも類

馬鈴薯	一等賞	平泉寺町	手塚 治也
-----	-----	------	-------

E 果菜類

南京	一等賞	北谷町	小林仁太郎
----	-----	-----	-------

F 果実類

栗	一等賞	差羽町	松山 九重
---	-----	-----	-------

G 加工品

味噌	特等賞	荒土町	泉川 練次
味噌	一等賞	荒土町	石塚 勉
味噌	一等賞	鹿谷町	松瀬 誠治

H たばこ類

たばこ	特等賞	平泉寺町	手塚 治也
たばこ	一等賞	野向町	内田 義彰
たばこ	一等賞	野向町	高田信一郎

二 林産部

木炭	知事賞	勝山町	織田 長松
木炭	改良組合賞	北郷町	山川 政雄
特等賞	勝山町	西又庄太郎	
特等賞	荒土町	高田 義忠	
特等賞	勝山町	織田 義雄	

三 畜産部

特等賞	荒土町	石塚半左衛門
一等賞	北郷町	石塚定四郎
一等賞	鹿谷町	西川 英一

桑苗	平泉寺町	江端 榮造
蚕	村岡町	松崎 良治
蚕	福井県蚕業卒業生聯合会長賞	大平 権造
蚕	野向町	津田彦左衛門
蚕	北郷町	安井 定治
蚕	鹿谷町	若林善次郎
蚕	平泉寺町	南江源太郎
蚕	北谷町	南江源太郎

特別賞	福井県農業者会長賞	田沢清兵衛
大豆	平泉寺町	山端 嘉栄
大豆	村岡町	本田 静枝
大豆	福井県農業者協同組合中央会長賞	松原 忠雄
大豆	福井県農業者協同組合中央会長賞	松山 九重
大豆	北谷町	小林仁太郎
大豆	郡農協連会長賞	中村五兵衛
大豆	荒土町	中村五兵衛
大豆	平泉寺町	山本 弘
大豆	村岡町	松原 たか
大豆	鹿谷町	広瀬 和男

甘藷	勝山町	久保 長	
米	村岡町	松原 忠雄	
四畜産部			
馬	特等賞	村岡町	桑木 利吉
馬	一等賞	勝山町	野尻松五郎
山羊	北郷町	平井 敏章	
山羊	鹿谷町	林文右衛門	
鶏	荒土町	石塚 博	
かがしコンクール			
一等賞	勝山市立石	農家組合	
勝山市畜産物表彰者			
平泉寺町	平林 茂		
勝山町	多田 忠		
村岡町	竹内 武重		
北谷町	斎藤 善右衛門		
野向町	松井 治		
荒土町	玉木 透		
北郷町	津田彦左衛門		
鹿谷町	宮川 小兵衛		
差羽町	松山 九重		
平泉寺町	手塚 泰知		
勝山町	熊山 常吉		
村岡町	木多 清		
野向町	山口 助		
荒土町	山川 太助		
北郷町	朝川 次郎		
鹿谷町	笠川 幸		
差羽町	吉田 国太郎		



肥料の注文は

どうしたらよいか

こんな大切なことを「去年の肥料注文はこれだけだから今年はこれ位にしよう」というのが普通のようなです。先づ第一に米というものは一石穫るのにどれだけの肥料成分が必要かと申しますとチツソ一貫匁、リンサン四百匁、カリ九百匁です。それで自分の田圃は一反歩当り何石穫れるのであろうか、平年の反取というものはそれくらいわかつているものですが、実際の面積というものは測量してみなければいまいな場合が多いものです。若し二石(米五俵)とすれば必要な反当りの肥料成分はチツソ二百匁、リンサン八百匁、カリ八百匁になります。

第二に肥料の種類を選んでそれだけ

の成分を与えられる量を施用します。チツソ二貫匁を入れる為に硫酸や石灰を施用するならば十匁、八百匁のリンサンを過燐酸石灰で施用するならば五貫匁、カリ八百匁を塩化加里で施用するならば三百六十匁ということになります。

これは一反歩の肥料ですから自分の田圃が五反歩あれば五倍したものが全肥料となり、これだけを注文すればよいこととなりますが、増産の分として一割位は増して注文して下さい。ここでは堆肥、リンゲ草等が入っていないからそれだけの分を差引かねばなりません。特にチツソ質の肥料リンゲ草については厳密に計算して差引かないと失敗致しますから御注意下さい。

このように計算して見ますと突飛もない数字を注文している場合がありま

冬休みを迎えるにあたり

父兄の皆さんへ

①家庭生活の心構えと指図について
市内の各小学校の冬休みは例年通り十二月二十六日から始まりですが、年末と年始にあたり各家庭でも何かと多忙なときでありますので、子供達の家庭における生活については一そう留意せねばなりません。また新年を期して新しいよりよい生活を送らせるといふよい機会でもありますので、市教育委員会は児童生徒の家庭生活の心構えとその指導について父兄の方々に次の点に留意下さるよう望んでいます。なお休みに入る前に個々の児童、生徒の教育について十分学校、特に担任教師と御連絡の上、この冬休みを有意義に過ごせるよう希望しております。

(1)規律のある生活→早起、早寝、小づかいの節約、かけこみ遊びの禁止。
(2)健康の増進→ぬみがきとが、乾布摩擦の励行、適度な運動と適度な飲食。
(3)率仕の生活→手伝い、防火、防犯に對する協力。
(4)学習生活→日記、書初め、基礎学習
(5)趣味の育成→家族レクリエーション
(6)礼法の実践→友達に対する礼儀、応待の方法。
(7)その他→疾病の治療

(市教育委員会)

あけ運動始まる

「みんなて明るい
お正月を

師定の寒風は頼むに杖も柱もなくわびしい生活を余儀なくされている方々の上にも遠慮会釈もなく吹きつけております。
こうした生活に預つておられる方々に、少しでも明るいお正月をといて温かい心持をこめた「歳末たすけあい運動」を実施しております。
市民の皆様のおたすけあい思いやりをこれらの不慣れた方に御分ち下さるよう格別の御協力を御願ひ致します。

一、運動期間 十二月一日、二十日、御方志
二、品いづれにても結構です
三、受付場所 市役所民生課
四、区分先 勝山市内の保護者家庭

年賀電報の受付は十日から三十一日迄

①勝山電報電話局では十日から三十一日まで年賀電報の特別取扱を行つております。

②この期間中に電話または直接電報電話局へ申込みれば元旦の朝配達されるわけです。

③特に二十五日過ぎは申込が殺到しますので早目に御申込下さい。

④今年はいままで十字までが三十円にあつたものが、十五字まで三十円になりました。

⑤文例もいままでの十六種類に加えて返礼用の文例など六種類を追加し、美照な送達紙や封筒を使用することになりました。

⑥クリスマス祝賀行楽用のクリスマス慶賀電報も準備されていますからぜひ御利用下さい。

(勝山電報電話局)

年賀交歓会

御申込は二十五日まで

昭和三十一年の新春を心から祝福し、併せて市民の親睦交歓を促る年賀交歓会を次の通り開催致しますから種々多数御参加下さい。

一、主催勝山市、勝山商工会議所
二、日時 昭和三十一年一月一日午前十一時
三、会場 勝山中学校
四、会費 一人 一〇〇円
五、申込期日 十二月二十五日まで市役所総務課または最寄の支所及び商工会議所まで
六、備考 服装は略装のこと。

昭和三十年12月31日

工業調査が行われます

本年もまた十二月三十一日現在で工業統計調査が実施されます。この調査は全国の製造工場について従業員数、原材料の使用額、出荷額等について詳細に調べ、製造工業の面から我が国の経済活動の実態を明らかにする最も重要な統計を作るために行われるものであります。

作成された統計表は通商産業行政上の資料とするだけでなく、国の諸施策上の資料ともなり、また事業者の業務上の参考資料あるいは学界の経済分析その他の研究資料としても広く利用され、かつ我が国の経済事情を海外に紹介するための具体的な資料となつていきます。これはこの調査に基いて作られた工業統計表が我が国製造工業の姿態を数字をもつて具体的に明示しているからであります。

かように広汎な利用に際するため本年の調査においては、今最も必要とされている調査事項を若干加えて調査内容の充実を計つたので、昨年に増して中告者の御理解と御協力を得なければ所期の目的を遂行することができません。調査表裏面を熟読の上正しい申告をして下さい。

年賀郵便は今から準備して下さい

①二十八日を過ぎてお出しになりますと、元旦に間に合わない場合があります。

②特別取扱は十二月十五日から二十八日までです。この間にお出しのものは一月一日附印を押して発案致します。

③年賀郵便は表面に年賀と朱記するか又は束ねて年賀郵便と記載した符箋をつけてお出し下さい。

④新市宛のものには必ず府県名をお書き下さい。

⑤年賀用の図案スタンプをいろいろ設備していますから御利用下さい。

(勝山郵便局)

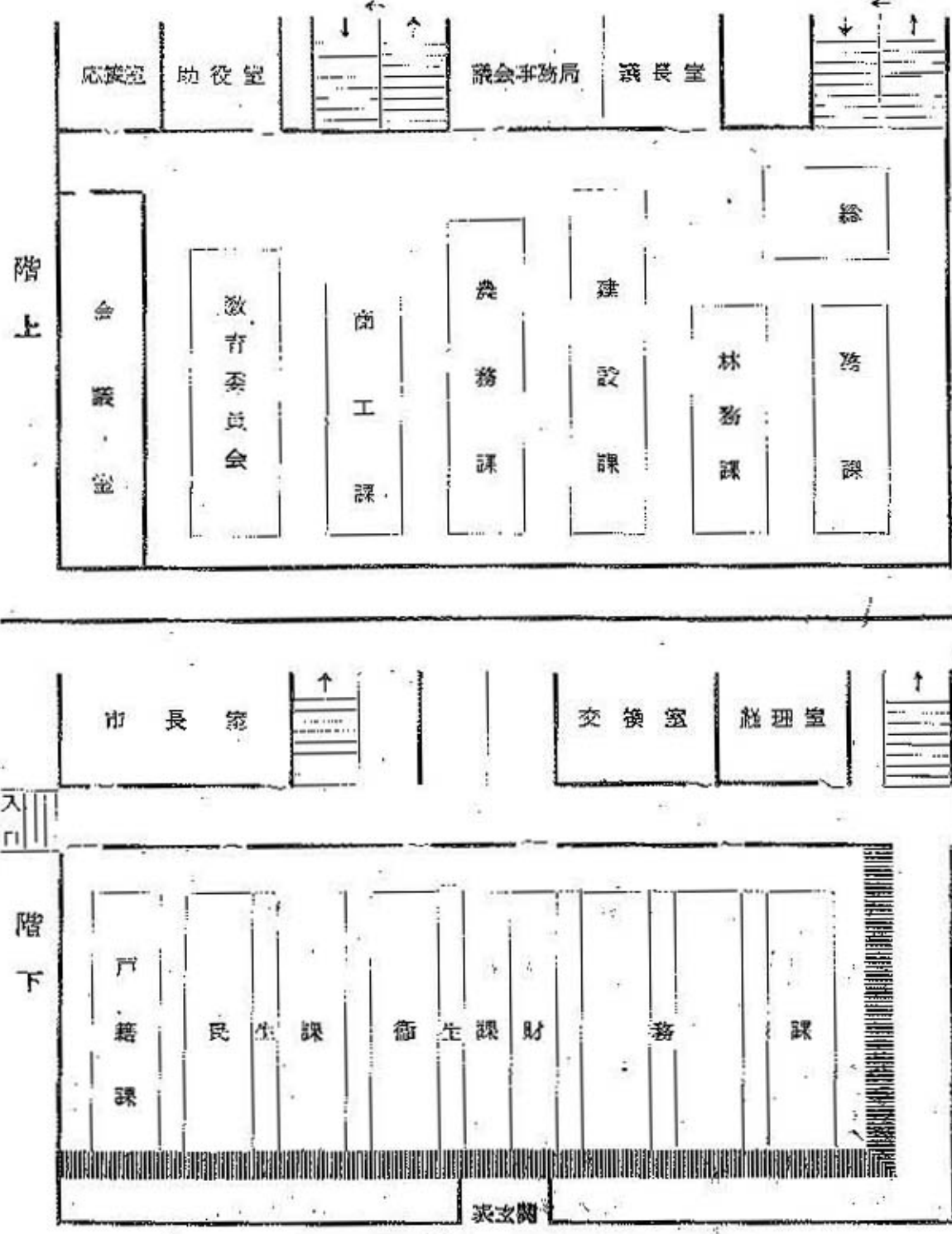
勝山市 公益 質屋
信用金庫
場所 電話 700番

人事異動

市役所分課条例の一部改正にともない次のように人事異動が行われました
(カッコ)内は旧任

- ◆ 総務課長 坂井木次郎 (衛生課長)
- ◆ 民生課長 平井新壽 (総務課長)
- ◆ 財務課長 上山繁明 (財務課長)
- ◆ 農務課長 仲村利章 (民生課長)
- ◆ 衛生課長 南浦作治 (農務課長)
- ◆ 林務課長 山岸昇平 (農務課長)
- ◆ 財務課長補佐 山口素直 (農務課長)
- ◆ 財務課長補佐 川原久兵衛 (農務課長)
- ◆ 総務課長補佐 神下伊三郎 (農務課長)
- ◆ 財務課長補佐 山下伊三郎 (農務課長)
- ◆ 財務課長補佐 中野研治 (農務課長)
- ◆ 財務課長補佐 前田徳一 (農務課長)
- ◆ 建設課長補佐 松村克麿 (農務課長)
- ◆ 建設課長補佐 森石治 (農務課長)
- ◆ 農務課長補佐 西代志野 (農務課長)
- ◆ 林務課長補佐 西代志野 (農務課長)
- ◆ 農工課 横山茂男、門野三、高村

勝山市役所各課配置図



- ◆ 建設課 木戸 誠 (農務課)
- ◆ 林務課 山下広 (農務課)
- ◆ 農務課 宮山勉 (農務課)
- ◆ 衛生課 西野ちえの (農務課)
- ◆ 農務課 川崎善三郎 (農務課)
- ◆ 衛生課 三屋武男 (農務課)
- ◆ 衛生課 中村弥次兵衛 (農務課)
- ◆ 衛生課 日谷庄隆 (農務課)
- ◆ 衛生課 長谷川文字 (農務課)
- ◆ 衛生課 諏訪寛夫 (農務課)
- ◆ 衛生課 原崎直文 (農務課)
- ◆ 衛生課 川村英夫 (農務課)
- ◆ 衛生課 斎藤珍 (農務課)
- ◆ 衛生課 門戸輝雄 (農務課)
- ◆ 衛生課 竹内慶男 (農務課)
- ◆ 衛生課 玉崎正弘 (農務課)
- ◆ 衛生課 久保よし子 (農務課)
- ◆ 衛生課 多田井よし子 (農務課)
- ◆ 衛生課 伊藤一郎 (農務課)
- ◆ 衛生課 島田英博 (農務課)
- ◆ 衛生課 矢野厚一 (農務課)
- ◆ 衛生課 梅田信夫 (農務課)
- ◆ 衛生課 笠松重信 (農務課)
- ◆ 衛生課 池田倫 (農務課)
- ◆ 衛生課 伊藤徳 (農務課)
- ◆ 衛生課 三屋一男 (農務課)
- ◆ 衛生課 本堂山内正 (農務課)
- ◆ 衛生課 清水進 (農務課)
- ◆ 衛生課 松山藤孝 (農務課)
- ◆ 衛生課 福田哲夫 (農務課)
- ◆ 衛生課 いずれも農務課
- ◆ 衛生課 勝山市公益質屋 河合次 (農務課)
- ◆ 衛生課 鹿谷支所 長谷川はつを (農務課)
- ◆ 衛生課 鹿谷支所 笠羽テイ (北郷支所) いずれも事務員に任ずる
- ◆ 衛生課 鶴野留雄 (使丁) 技術員に任じ林

- ◆ 衛生課 鹿谷支所 藤堂達彦 (北郷支所)
- ◆ 衛生課 山内秋子 (鹿谷支所)

「お願い」
市民の皆さん、昭和三十年もあとしばらくとなりましたが新しい年を迎えるに当り、恒例の年賀状の交換も行われる事と存じます。これにつきましては市民の皆さんと共に新春を誇り御祝は儀々の意味から市広報または年賀交歓会を催して行いたいと思っております。尚平右衛門御諒解の上、市内在住の皆さんにはお互に年賀状の交換を廃止して頂くよう市役所では特に希望しております。
去る十一月二十六日に勝山火葬場の無縁仏をお納めする場所を改築(三界万壟と記した蓋)致しました。従来万壟の場所は甚だ粗末なものであり、周圍に草叢がはびこつていた關係上、猫その他の汚物を拾てられる方もありました。今後は絶対に不潔な物を拾えないように致しませう。

発行所 勝山市役所 印刷所 勝山朝日通信印刷株式会社
集勝山市広報企画課